

H21～H29までの採択状況

- 対 象  
H21～H24 生命環境学群・理工学群・情報学群の1～3年生  
H25～ 全学群1～3年生

| 種目別採択件数 |           |    |           |    |           |    |           |    |           |    |           |    |           |    |           |    |           |    |
|---------|-----------|----|-----------|----|-----------|----|-----------|----|-----------|----|-----------|----|-----------|----|-----------|----|-----------|----|
| 種目      | H21       |    | H22       |    | H23       |    | H24       |    | H25       |    | H26       |    | H27       |    | H28       |    | H29       |    |
|         | 採択件数：22件  |    | 採択件数：28件  |    | 採択件数：25件  |    | 採択件数：39件  |    | 採択件数：30件  |    | 採択件数：45件  |    | 採択件数：45件  |    | 採択件数：41件  |    | 採択件数：47件  |    |
|         | 参加人数：24名  |    | 参加人数：23名  |    | 参加人数：25名  |    | 参加人数：44名  |    | 参加人数：32名  |    | 参加人数：48名  |    | 参加人数：50名  |    | 参加人数：43名  |    | 参加人数：48名  |    |
|         | 申請上<br>限額 | 件数 | 申請上<br>限額 | 件数 | 申請上<br>限額 | 件数 | 申請上<br>限額 | 件数 | 申請上<br>限額 | 件数 | 申請上<br>限額 | 件数 | 申請上<br>限額 | 件数 | 申請上<br>限額 | 件数 | 申請上<br>限額 | 件数 |
| S       | 100万円     | 4  | 60万円      | 1  | 100万円     | 1  | 100万円     | 1  | 50万円      | 0  | 50万円      | 0  | 50万円      | 0  | 50万円      | 0  | 30万円      | 2  |
| A       | 30万円      | 8  | 30万円      | 0  | 30万円      | 4  | 30万円      | 1  | 20万円      | 1  | 20万円      | 4  | 20万円      | 0  | 20万円      | 1  | 20万円      | 2  |
| B       | 7万円       | 7  | 10万円      | 4  | 15万円      | 9  | 15万円      | 13 | 10万円      | 14 | 10万円      | 15 | 10万円      | 20 | 10万円      | 17 | 10万円      | 11 |
| C       | 3万円       | 3  | 5万円       | 7  | 5万円       | 11 | 5万円       | 24 | 5万円       | 14 | 5万円       | 24 | 5万円       | 22 | 5万円       | 23 | 5万円       | 30 |
| 奨励      | －         | －  | 2万円       | 16 | －         | －  | －         | －  | 0円        | 1  | 0円        | 2  | 0円        | 3  | 0円        | 0  | 0円        | 2  |

| 所属別参加学生数   |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
|------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 所属         | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 |
| 人文・文化学群    | -   | -   | -   | -   | 3   | 7   | 7   | 3   | 2   |
| 人文学類       | -   | -   | -   | -   | 3   | 4   | 6   | 3   | 1   |
| 比較文化学類     | -   | -   | -   | -   | 0   | 2   | 1   | 0   | 0   |
| 日本語・日本文化学類 | -   | -   | -   | -   | 0   | 1   | 0   | 0   | 1   |
| 人間学群       | -   | -   | -   | -   | 0   | 0   | 1   | 0   | 0   |
| 障害科学類      | -   | -   | -   | -   | 0   | 0   | 1   | 0   | 0   |
| 社会・国際学群    | -   | -   | -   | -   | 0   | 1   | 1   | 0   | 0   |
| 社会学類       | -   | -   | -   | -   | 0   | 1   | 0   | 0   | 0   |
| 国際総合学類     | -   | -   | -   | -   | 0   | 0   | 1   | 0   | 0   |
| 生命環境学群     | 9   | 15  | 14  | 21  | 16  | 20  | 21  | 15  | 20  |
| 生物学類       | 6   | 11  | 10  | 7   | 8   | 7   | 14  | 8   | 12  |
| 生物資源学類     | 3   | 4   | 3   | 13  | 4   | 12  | 7   | 6   | 7   |
| 地球学類       | 0   | 0   | 1   | 1   | 4   | 1   | 0   | 1   | 1   |
| 理工学群       | 10  | 5   | 10  | 19  | 8   | 19  | 6   | 10  | 7   |
| 数学類        | 0   | 0   | 1   | 0   | 0   | 1   | 0   | 0   | 0   |
| 物理学類       | 5   | 2   | 2   | 5   | 3   | 1   | 1   | 0   | 0   |
| 化学類        | 0   | 1   | 0   | 2   | 1   | 2   | 1   | 0   | 0   |
| 応用理工学類     | 1   | 0   | 4   | 5   | 3   | 6   | 3   | 5   | 4   |
| 工学システム学類   | 4   | 2   | 3   | 7   | 1   | 7   | 1   | 2   | 3   |
| 社会工学類      | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 2   | 0   | 3   | 0   |
| 情報学群       | 5   | 3   | 1   | 3   | 5   | 1   | 14  | 15  | 19  |
| 情報科学類      | 2   | 1   | 0   | 1   | 4   | 1   | 4   | 3   | 1   |
| 情報メディア創成学類 | 3   | 1   | 1   | 2   | 1   | 0   | 8   | 11  | 14  |
| 知識情報・図書館学類 | 0   | 1   | 0   | 0   | 0   | 0   | 2   | 1   | 4   |



Advancing  
Researcher  
Experience

## 先導的研究者体験プログラム

<http://www.are.tsukuba.ac.jp/>

【事務局】  
筑波大学 研究交流室  
(第三エリア 3B棟2階 3B205室)  
〒305-8573 茨城県つくば市天王台1-1-1  
TEL/FAX 029-853-8284  
E-MAIL ARE@un.tsukuba.ac.jp



プログラムについて相談したい学生は  
事前にメールで相談を希望する日時を  
お知らせください

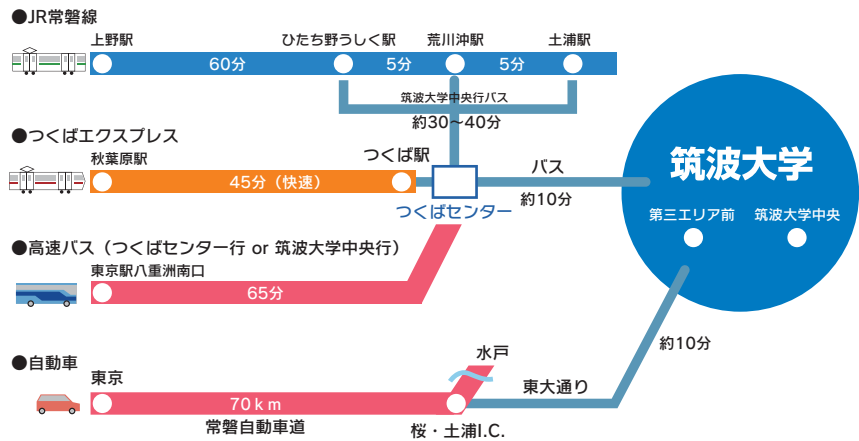


アクセス

●つくばエクスプレスにて秋葉原駅からつくば駅まで最速45分。  
つくばセンターから「筑波大学中央行き」バス、または「筑波大学循環バス(右回り)」で「第三エリア前」まで約10分。  
左回りでも行けますがやや遠回りになります。

●JR常磐線にて上野駅、あるいは水戸駅からひたち野うしく駅、荒川沖駅、あるいは土浦駅まで約1時間。ひたち野うしく駅東口、荒川沖駅西口、あるいは土浦駅西口からそれぞれ「筑波大学中央行き」バスで「第三エリア前」まで約40分。  
なお直行バスがない場合は、「つくばセンター行き」バスで「つくばセンター」下車、「筑波大学循環バス(右回り)」で「第三エリア前」下車。

●東京駅八重洲南口から「筑波大学行き」高速バス、「つくばセンター行き」高速バスにて「つくばセンター」下車(約65分)。つくばセンターから「筑波大学中央行き」バス、「筑波大学循環バス(右回り)」にて「第三エリア前」下車(約10分)。または、東京駅八重洲南口から「筑波大学行き」高速バスにて「大学会館」下車(約75分)。「第三エリア前」まで徒歩(約5分)。



全学群1～3年生の

# 研究 応援します



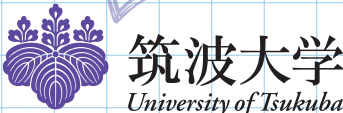
先導的研究者体験プログラム(ARE)で  
研究者の生活をリアルに体験！  
もちろん、研究テーマは自由です！

研究したいけど…。

- 費用が足りない
- 研究設備がない
- テーマが定まらない
- 何から始めたらいいかわからない

研究交流室で説明を聞こう！

- 研究費の援助(数万円～数十万)
- 研究テーマの決定
- 計画書の書き方など





# 筑波大学は新たな学問分野を開拓する 先導的研究者を育成します

「先導的研究者体験プログラム」(ARE)は、全学群・学類の1年生から3年生を対象に、理系、文系を問わず、学生諸君の自発的な研究活動を支援するプログラムです。このプログラムは、学生の研究意欲や研究能力を伸ばすと同時に、自発的に学ぶ力をつけ、創造的で稀有な人材を育成することを目的としています。

筑波大学は、1973(昭和48)年の開学時から、それまでの大学が、教養課程(1、2年次)と専門課程(3、4年次)に分かれていたことに対し、1年次から4年次まで、専門科目を一貫して学ぶ、くさび形のカリキュラムを採用しました。今日では、日本のほとんどの大学が、このくさび形カリキュラムを採用しており、その意味では、筑波大学は、新しい大学教育を先導する立場にあるといえます。

最近、高校においても課題研究などが盛んに行なわれ、優れた研究成果をあげていますが、高校時代は、特に課題研究などの経験がなかった人でも、「筑波大学では自分で何らかの課題を決めて調べてみよう」と考えている人も少なくないと思います。その一方で、1年次の授業において、基礎的な科目など、本来、学びたかったこと、研究したかったことは直接結びつかない科目も少なくなく、若干、戸惑いを感じる場合もあるでしょう。しかし、このAREは、自分の興味のある研究課題を、財政的支援を受けながら、すぐに始めることができるプログラムです。

あなた自身の関心のあるテーマについて「研究計画書」を作成し、AREに提出してください。あなたの課題が採択されれば、あなたは、速やかに自分の研究課題に取り組むことができ、研究者の卵として、研究人生をスタートさせることができます。そして、自分の研究結果についてプレゼンテーションをする際には、あなたはすでに新人研究者として、研究キャリアをスタートさせているのです。

研究課題について、あまり難しく考える必要はありません。「世紀の大発見」といわれるこれまでの研究も、初めはちょっとした思いつきやきっかけから始まることも少なくありませんでした。皆さんの研究課題が、将来、大きな研究成果へ通する可能性も十分あります。その一方で、研究者としての道のりは、決して平たんではなく、克服しなくてはならない問題に突き当たることも幾度となくあるでしょう。一見、まったく関係のないと思われる分野や領域の人と接して、さまざまな意見やアドバイスを受けることにより、研究上の問題解決のヒントを得られる場合も少なくありません。

筑波大学は、他の大学に比べて学群間の壁が低く、異なる分野の授業を受講し、幅広い知識を獲得することが可能な教育システムを採用しています。本学のこのような利点を、皆さんの研究に大いに役立ててほしいと思います。AREでも、「研究者体験」の授業で、異分野の学生との合同研究発表会や「交流セミナー」を開催して、皆さんの研究上の視野が、さらに広がるよう応援しています。また、AREは学群での基礎的な課題研究を、将来、大学院での本格的な研究活動に発展させることも奨励しています。理系、文系を問わず、研究に関心をもつ多くの学生の参加を期待しています。



筑波大学教育担当副学長  
清水 諭



## 研究者に必要な3つの能力を鍛える

### 探究力

科学研究費補助金(科研費)と同じように、研究のレベルに応じて研究費の額に区分を設け、研究活動を行いたい全学群の1~3年生(編入生も可)に、研究計画書の申請をしてもらいます。審査を受けて採択され、アドバイザー教員の認可が得られれば、学生は早期に研究室配属され、4年生や大学院生のような研究活動ができる体制になっています。このプログラムでは、研究者生活を体験させるだけでなく、自分自身で見つけた研究課題を試行錯誤しながら研究を遂行し、物事を探求する力を習得してもらいます。それに加えて、研究業績・研究成果に応じて、レベルの高い申請ができますので、自分自身のレベルアップにもつながられます。研究終了後は、実績報告書を提出してもらい、成果の審査を行います。

### 表現力

参加者全員が研究成果の報告を行う研究発表会を開催します。この研究発表会では、自ら発見したことや創造したことを人に伝えることの喜びと難しさを体得することで表現力を身につけてもらいます。全ての発表者が互いの研究内容を知ることができるよう、ポスターセッションを設けています。研究意欲の向上や異分野の方に研究内容を伝える力を伸ばすために、優れた発表をした学生には賞を授与します。研究発表会は学内外に公開し、どなたでも参加できます。毎回、外部評価委員の先生方に学生の研究発表を評価して頂いています。

### コミュニケーション力

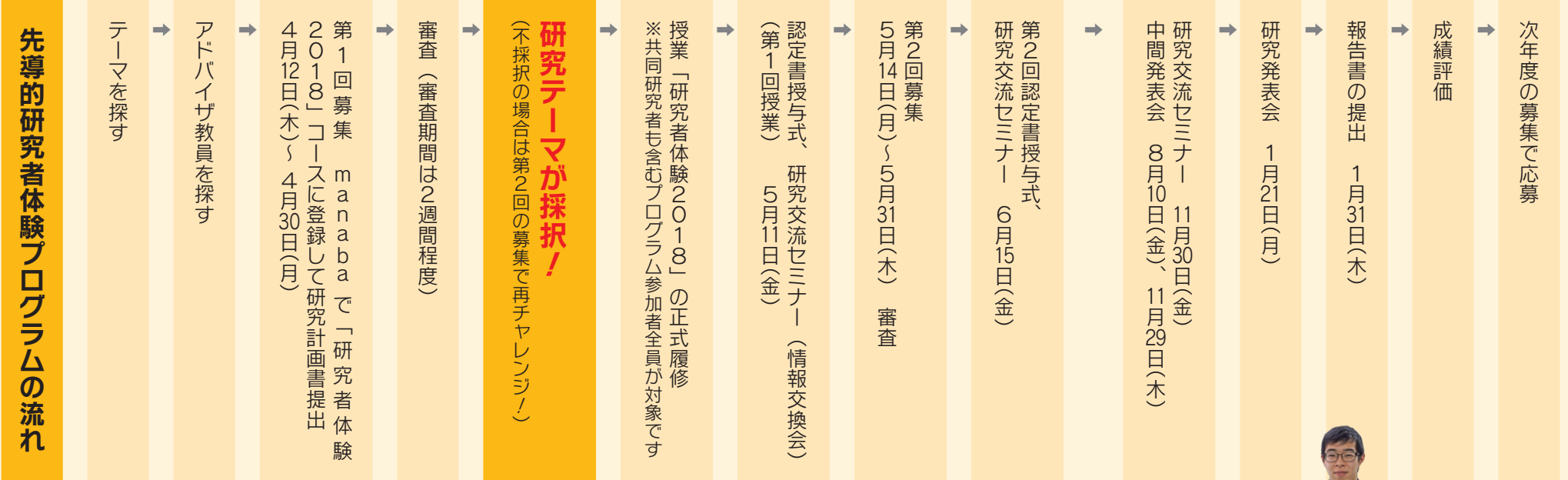
参加学生がより確固とした目標を持ち、研究者生活をより明確にイメージしてもらうために、研究者、企業家、個人事業主や大学院生などを招いて、研究体験談や研究の話聞き、講演者と交流するセミナー(交流セミナー)を実施します。このセミナーで異分野の参加学生や教員と交流することで、分野外の人たちに自分の興味・関心を伝えることのできるコミュニケーション力を磨かせます。

## 先導的研究者体験プログラム(ARE)で研究者生活をリアルに体験!!

全学群  
1~3年生対象

### ー 研究の厳しさ、発見や創造の喜びを体感し、学習意欲や課題探究力を磨こう ー

平成30年度は「研究者体験2018(通年集中)」を開設します。本プログラムに応募するには、まず学習管理システムのmanabaで「研究者 体験2018」コースに登録してください。



### AREに採択されると受けられる支援

プログラムに参加すると、研究活動、国内・国際学会等発表、論文投稿に係る経費を支援(補助)します。また、ノートPC等の貸出を行っています。貸出物品の詳細は研究交流室にお問い合わせください。

### 研究交流室の利用について

AREの参加学生は研究交流室の共用の設備や物品を使用することができます。研究打合せや、友人と一緒に輪読や発表練習をすることもできます。誰かに研究の話をしたいと思ったら、研究交流室のスタッフに話しましょう! 誰かに説明をすることで情報が整理され新たな発見があるかも!?

設備等の紹介: 共用のデスクトップPC (WINDOWS 2台、MAC 2台)、複合機、ラミネーター、スキャンスナップ、裁断機、プロジェクター、文房具等

### 研究計画の募集日程を早くします!

※平成30年度は昨年度より募集日程が早まります。余裕をもってご準備ください。

### ARE生、修了生が第7回サイエンス・インカレで受賞

ARE生、修了生3名が第7回サイエンス・インカレに採択され、1名が口頭発表部門で文部科学大臣表彰、1名がグッドパフォーマンス賞を受賞しました。

文部科学大臣表彰を受賞  
阿部真生子さん(生物学類2年)

